高等学校教育改革先導校コーディネーター配置業務委託　企画提案競技審査要領

この要領は、標記業務の受託候補者を決定するために行う企画提案競技の審査・選考方法等の詳細を定めるものである。

１　審査方法

（１）審査概要

提案された企画内容について、審査員は（３）の審査項目それぞれに評価点をつける。

（２）審査票の記入及び質疑

審査票の該当枠内に評価点を記入する。

特記事項や補足事項は自由記述欄を利用して記載する。

（３）審査項目（計１００点）

①　配置する人材の適性（５０点）

高校教育改革の方向性を十分に理解するとともに、文部科学省が発行した「高校コーディネータースタートガイドブック」のＰ３０、３１に記載されている「高校コーディネーターに期待される力」を備えているか。

また、コーディネーターを２名配置できず１名配置となる場合、もう１名の配置の代替とする手段は、十分効果が得られる仕組みとなっているか。

②　実施体制（２０点）

本業務を円滑かつ継続的に実施するための組織体制が構築されているか。また、配置する担当者の役割分担が明確であり、教育委員会、改革先導校及び関係機関との連携や緊急時の対応を含め、安定した業務遂行が期待できる体制となっているか。

③　同種又は類似の業務実績（１５点）

過去３年間で類似の業務を円滑かつ効果的に実施しているか。

④　経費の妥当性（１５点）

経費の積算は適切か。

（４）受託候補者の決定方法

受託候補者は各審査員の評価点をもとに選考し、県が決定する。